

沖縄県立沖縄盲学校	連絡先 TEL : 098-889-5375 E メール : xx350010@pref.okinawa.lg.jp
------------------	---

1 実践事項（今年度の実践）

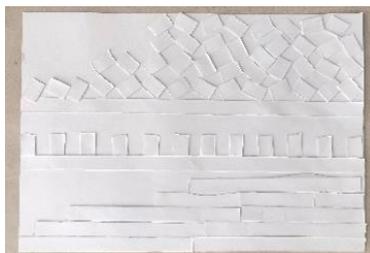
タイトル：「 視覚障害生徒における絵画の授業 」

2 実践内容

対象は、本校高等部一般学級の生徒3名。美術の授業において、音楽の鑑賞からリズムや音色などに気づき、絵画表現をする際の色やリズムに対応させ行なった。一つ目の実践ではバレエ曲「ボレロ」を共通題材として選曲し、様々なオーケストラの演奏を比較しながら聞き込んだ。何度も聞く中で「生まれて、広がっていく」「楽器は増えていくけどリズムは一定」「徐々に立ち上がっていく」などの音楽の要素だけでなく、楽曲から物語を想起することができていった。実際の制作においては楽器の重なりを表現する生徒や、何もなかった場所に太陽が生まれるイメージを表現するなど同じ楽曲から多様な表現が生まれた。

二つ目の実践では、それぞれの好きな曲を聞き込んで歌詞やメロディーを絵画に表現した。

3 説明資料（写真、グラフ、図、表など）



ボレロの演奏に着目した生徒の作品。同様のリズムを刻む打楽器、波打つメロディーを表現。
(高1 全盲)



バレエの踊りのようにひだをつけている。曲冒頭の静けさから中盤の華やかな場面をイメージ。
高3 全盲



「僕のこと」
Mrs.GREEN
APPLE
を表現左右の黒色は悲しみ、苦しみを、下から中央に伸びる赤は幸せ明るさを表現。幸せの面積が大きくしている。
(高1 全盲)

4 成果

視覚障害特別支援学校では、粘土などの触覚を使った立体表現が行われることが多い。今回の成果の一つは、視覚に障害のある生徒が主体的に行うことのできる絵画表現の方法を示せたこと。表現する中で道具の扱いなどで支援は必要であるが、主体的に主題を生成することができた授業になったのではないかと考えている。

5 課題

全盲の生徒が色を使う際に多くの質問があった。その生徒は音楽が得意であったため、色を音の高低や楽曲の明暗などに置き換えて説明を行なった。奥行きや背景など、視覚情報をいかに伝えるのかは課題である。粘土などの造形表現だけでなく、絵画表現を学ぶことのできる実践を行っていきたい。